

団地生活の安全・安心・快適をサポートします



2006 SUMMER

VOL. 9

## 特集 団地でもっと幸せになる5つのヒント





団地生活の安全・安心・快適をサポートします

**JS plus**  
[ジェイエス・プラス]  
JS LIFE DESIGN MAGAZINE

## CONTENTS

- 1 特集  
団地でもっと幸せになる5つのヒント
- 8 快適住まいのミニ知識  
団地ライフに、季節を取り入れる。
- 9 隨筆  
「メモ帳から」その9 大槻茂
- 10 CLOSE UP 団地ライフ  
顔の見える環境づくりをこれからも。  
千葉市稻毛区の千草台団地自治会
- 12 平野レミの “フライパンひとつで早ワザごはん”
- 14 こんにちはJSです。  
賃貸住宅の駐車場管理業務－業務課
- 16 読者のお便りから READER'S COLUMN
- 17 JSからのお知らせ JS INFORMATION

表紙イラスト:国分 チエミ

特集

## 団地でもっと幸せになる 5つのヒント

団地の暮らしの中でどんなことに“心地よさ”を感じていますか?

たとえば、団地に息づく緑豊かな風景。気心の知れたご近所同士の会話。それとも我が家で過ごす自分だけの穏やかな時間に安らぎを感じるのでしょうか

毛塚千代さんの著書『団地で見つけた小さな幸せ』のページをめくると27年間の団地暮らしを心豊かに生きてきたライフスタイルが伝わってきます。

そこには、団地暮らしの中でささやかだけど大切な  
幸せ探しのヒントが詰まっていました。



ふとした瞬間に感じる心地よさーそれが小さな幸せ。



◀毛塚さんちのリビング。



ゆったりとした敷地内に点在する四角い棟は、まばゆい若葉に囲まれていました。小さな階段を上ると、コーヒーの香りがほんのり漂ってきます。インターホンの音に続き、「はーい!」という明るい声が。「団地で見つけた小さな幸せ』の著者で、ドール作家の毛塚千代さんのご自宅です。柔らかで飾らない雰囲気をもつ毛塚さんに、団地で暮らしてもっと幸せになるヒントをお聞きしました。

毛塚千代さん

3Kの団地で模様替えを楽しむ暮らしが人気を呼び、『私のカントリリー』の連載等で読者の絶大な支持を集めます。ドール作家としての人気も高い。著書に『手作りのあるやさしい暮らし』『団地で見つけた小さな幸せ』



## Take a Hint 1

### 団地が大好きです

「ここが団地?」玄関を開けたとたん、見渡すお部屋に自分の目を疑いました。まるでヨーロッパの田舎にある小さなお家のようなインテリア。ノスタルジックな温かい雰囲気に包まれています。小さな感激が素朴な疑問になって後から後から口を衝いて出てきます。「このお部屋全部、毛塚さんご自身が模様替えを? いつから?きっかけは?」



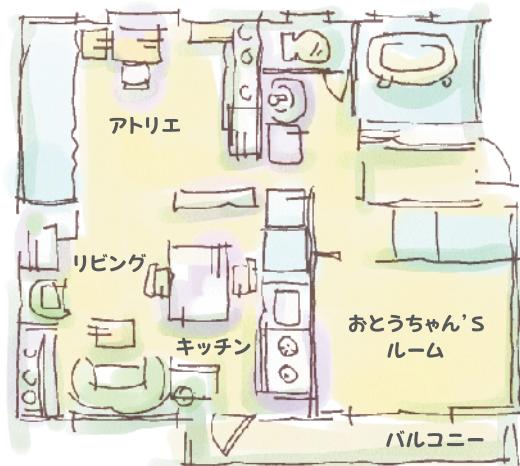
▲キッチンからベランダへの勝手口。

の風景が大好き。とりわけ満開の桜で窓が真っ白に染まる季節は、いつまで眺めても飽きないの」



◀毛塚さんちのアイドル、「きくちゃん」。

四角い箱を区切ったような団地の間取りは、各部屋に窓があります。通り抜ける風に季節の訪れを感じ、一喜一憂している毛塚さんが想像できます。



毛塚さんちの間取り

## Take a Hint 2

### 模様替えのとりこです

狭くても心地よく暮らしたい！そんな願いから部屋づくりが始まりました。

#### ●いいなって思ったら真似しちゃえ！

「洋書は私のインテリアのバイブルみたいなもので、子育て真っ最中の頃から、穴が開くほど眺めていたの。真似したい！と思うインテリアに出会った瞬間、なんとか似た雰囲気にできないかしら、と試行錯誤していた。今思えば、団地って私が手を加えるのにちょうどいい広さ（狭さ？）だったのかもね」



▲洋書から学んだインテリアは数知れず…。

部屋の所々に置かれている洋書をバラバラとめくると、毛塚さんの憧れる素敵世界がそこにありました。27年間、少しずつ洋書にヒントもらって、その積み重ねが部屋を変えていったんだな、と思いました。

#### ●まずは、はじめの一歩踏み出そう！

「23年前、おとうちゃんがへそくりを貯めて買ってくれた食卓がうれしくて、テーブルクロスを作ったのね。その残り布で作ったタペストリーの写真を雑誌に投稿したら掲載されたの。あの投稿がきっかけで、たくさんの人との出会いがありました」

素朴な興味から始まった自分だけの手作りの世界だったのが、ちょっとしたきっかけで新しい世界に広がった毛塚さん。人と出会える刺激は、さらなる手作りへの情熱を駆り立ててくれたのかもしれません。

#### ●やってみれば意外とできるもの。

「27年間、雑貨を並べ替える小さなイメージチェンジまで数えたら、模様替えは毎日と言ってもいいくらい。5年前、子ども達の独立と同時に、大きな家具が姿を消し部屋が広くなったの。家族が減るのは寂しい反面、新しい模様替えを待ちにしていたのも事実。日替わり状態で変わっていく部屋に文句ひとつ言わず協力してくれた家族には感謝の気持ちでいっぱいです」

プロに頼らず、自分の手で工夫するから夢中になれるのだと思いました。毛塚さんは、模様替えを重ねるたびに、「我が家」が愛しくなっていったのでしょうか。



▲はちみつ色の壁と白い腰板がカントリー風！



▲毛塚さん作の人形たち。

## Take a Hint 3

### ドール作りはライフワークです

針を持たない日は一日もありません。手作りのぬくもりに、ときめく毎日です。

#### ●好きなことを続けましょ！

「ここに引っ越してきて以来、手作りした布物は数知れず。カーテンやクッションカバーは、思いつきで気軽に作っちゃうの。その中でも夢中なのがカントリードール。一枚の布から生まれた人形が、布の風合いや髪の毛、ドレス、アクセサリーによってまったく違う表情に仕上がる面白さがたまらないの。人形を手にとてくれた人が、



◆見た格子窓に憧れて  
雑誌のペンション特集で



▲長い年月をかけて子ども部屋からリビング、そしてアトリエに。

物語を想像できるような人形をずっと作り続けたいです」

取材中に、イベントに出展していたドールたちが、毛塚さんの元に戻ってきました。早速ダンボールから取り出し、愛しそうに抱きしめながら、お部屋の定位置に飾る毛塚さん。毛塚さんの手から生まれるカントリードールは、素朴なあたたかさが伝わってきます。10年以上、毎日のように作り続けることができるの、好きだからこそ、なのでしょうね。

## Take a Hint 4

### アンティークは心の宝物です

どんな家でどんな風に使われてきたのかな。想像を膨らませながら飾ります。

#### ●未知の世界も覗いてみよう。

「大きな声では言えないんですけど、電車に乗るのも一人では不安、旅行といえばおとうちゃんと車で、それが当たり前だった私が、生まれて初めての海外旅行を決意した理由は、“小高い丘がアンティークショップで埋め尽くされているよ”と聞いたから（笑）。宝探しのようなショッピング巡りは、一日いても飽きない！我が家でどう飾ろうか、と思い浮かべながらのお買い物に胸は高鳴りっぱなしでした」

アメリカ旅行のきっかけは、日課のように楽しんで作ってきたドールを「お店

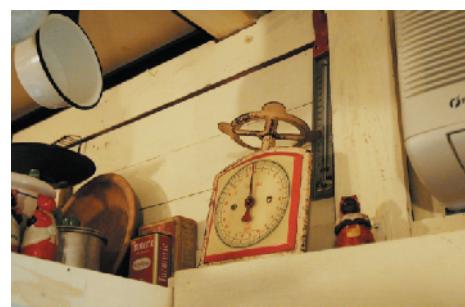


▲アメリカのアンティークショップにて。

に置きたい」という人が現れたこと。この出会いがあって、カントリードールショーを観るためにアメリカに飛ぶことになったそうです。突然の出来事に一番びっくりしたのは、ご本人なのかも。

#### ●好きなものを厳選して使い続ける。

「入居当初、団地の古さが気になって仕方がなかったのね。でもアンティークが増えてくると、意外にもその古さと溶け合っていることを発見。その昔、大切に使い込まれたアンティークには、使い手のぬくもりがいっぱい詰まっているからかもしれないね」



▲個性豊かなアンティーク雑貨。空中スペースを有効活用。

流行や新しいものに飛びついたりせずに、本当に好きになれるものを大切に使う方が豊かな気持ちになれる、アンティークはそう教えてくれたのですね。



▲茨城県日立市のアンティークショップ『ブリティッシュマーケット』でのイベント。



▲ドール作り教室が行われました。

## Take a Hint 5

### イベントは非日常的な出来事です

年に4回のイベントへ参加。たくさんの人の笑顔に会いにいきます。

#### ●いつも誰かとつながっちゃえ！

「臆病で人見知りのごく普通の主婦の私がイベントに参加するなんて、考えられないことだったの。今でも“私でいいのかしら”という不安はあるけど、会場まで足を運んでくださる方の笑顔と会える

ことがなによりの楽しみになりました」私の作った人形を手にとって幸せな気持ちになってくれる人がいるのなら。これが毛塚さんのイベントへの原動力です。毛塚さんの世界に憧れて、訪れる人は様々。赤ちゃんを抱っこしたお母さん、幾度も足を運んでくれるリピーターさんなど…。たくさんの人との出会い、たくさんの勇気と優しさをもらった毛塚さんは、イベントを通じて何かを伝えることができれば、と模索中です。

2冊目の出版の話がきた時、「1冊目の出版から4年。紹介があるかしら」と戸惑ったという毛塚さん。「私のすべては団地から生まれ、これからもそうなの」という言葉どおり、毛塚さんは、団地に住み続け、その愛着を募らせています。かつて家事や子育ての毎日を繰り返しながら見つけた小さな幸せを、大切に心に受け止めて感動してきた毛塚さんが今、目の前で笑っています。その飾らないライフスタイルは、“小さな幸せ探し”へのきっかけを私たちに作ってくれたような気がします。

## 団地ライフに、季節を取り入れる。

機械にだけ頼る生活への反省や省エネルギーの観点から、季節感のある住まい作りへの関心が高まっています。今回は季節を上手に取り入れる工夫にチャレンジ。

### 伝統的な住まいと現代の住まい

伝統的な住まいでは、室内と室外との仕切りが、障子、襖、板戸といったごく薄い素材で作られていました。そのため雨や風の音、雪の降る気配、鳥や虫の声などの気候や季節ごとの変化を、部屋の中にいながら自然に感じることができました。一方、現代の住まいは、冷暖房器具が大活躍するため窓などを締め切つておく必要があります。そのため、室外の季節変化がわかりにくくなっているのです。

### 雰囲気作りと実質的效果

現代の住まいでも、工夫次第で季節感を取り入れることはできます。たとえば夏はベランダに熱気がこもりやすいので「よしず」を張って日陰を作り、鉢植えの植物の保護にも役立てます。照り返しを防ぐ「すのこ」を敷いたり、夕方のベランダでの「打ち水」も効果的です。また「すだれ」は窓に当たる太陽熱の約3分の2をさえぎり、夏の雰囲気作り以外にも、室温の上昇を防ぐという実質的な効果があります。そのほかにも季節の変わり目にカーテンを替えたり、じゅうたんと藤カーペッ

トを季節ごとで使い分けるのも良いでしょう。照明は間接照明にし、夏ならばいつもの電気スタンドに寒色系の青い和紙など貼ってみると、ぐっと部屋の感じが変わります。

### 季節の演出でおもてなしを

また、おもてなしの際にも、季節を取り入れた演出をすると、面白い工夫ができます。たとえば玄関では華やかなひまわりのようなお花。お出迎えはミントの香りのお香も良いし、ダイニングテーブルなら、フレッシュハーブの葉をさりげなく添えてリフレッシュ効果も。洗面所やトイレの一角には、ミニサイズの一輪挿しに季節の花を挿しておくと、隅々まで行き届いた印象になります。



## 「メモ帳から」その9

大槻茂

早いもので、日本と韓国が共同開催したワールドカップから四年がたった。決勝戦が行われたのは、横浜市である。私は当時の横浜市長・高秀秀信さんに頼まれて、横浜市の広報活動のお手伝いをした。

みなとみらい地区には総合プレスセンターが設けられ、各国の記者が取材基地として利用した。その記者たちに、いかに横浜をアピールするか。レビュー、音楽と版画の夕べ、観光地案内、伝統工芸の披露など、様々な催しを企画した。

言葉もよく分からぬのに、記者連中を野毛のカラオケに連れて行ったりもした。

音楽と版画の夕べは、旧知のバイオリニスト・佐藤陽子さんに協力してもらった。山手にある洋館に池田満寿夫さんの版画の代表作を展示、佐藤さんがバイオリンを演奏したのである。会場の一角にワインとつまみを用意、洒落た一夕であった。

実はこのとき、私が間に入って佐藤さんと横浜市との間で、佐藤さんの死後に佐藤さんが所有する池田さんの版画全作品を市に寄贈する計画が進んでいた。子供のいない佐藤さんが、自分の死後に作品が散逸することを恐れたからである。だが、サッカー開幕直前の市長選挙で高秀さんはまさかの落選、この寄贈計画は頓挫してしまった。

聞けば、新市長のブレーンの一人が「自分で維持管理ができないので、やたらと寄贈したがる人が多い。もらった後に評価が急落したらどうするのか」という趣旨のことを言ったという。要するに、「池田さんの版画には価値がない」と断じているのである。その一方で、話は進まないのに担当職員は「ぜひ寄贈していただきたい」と繰り返す。

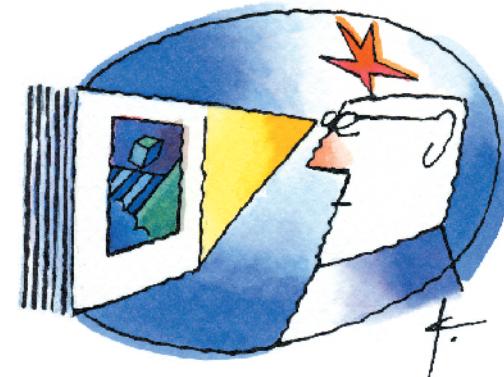
市への不信感が募った四年間だったが、今、この寄贈計画は急展開を見せようとしている。新たに、寄贈を受けたいという申し入れが公的機関からあったのである。佐藤さんとも相談、横浜市との話はお断りすることにした。泉下の高秀さんには申し訳ない気もあるが、正直ほつと/orしているこのごろである。

大槻茂 SHIGERU OHTSUKI

読売新聞社に入社後、社会部、生活情報部を経て、現在、青森大学客員教授。主な著書に「新天皇家の人々」「そばとうどん」「渋谷天外伝」など。

滑川公一 KOHICHI NAMEKAWA

イラスト・漫画修業のため渡仏。帰国後に個展「パリと猫と…」。'82年度日本漫画家協会優秀賞受賞する。作品に「世界のショートショート傑作選」「なにぬねこ」など。



イラスト・ナメ川コーヨイチ

## 顔の見える環境づくりをこれからも。

千葉市稲毛区の千草台団地自治会

### ●写真が物語る自治会の歴史

豊かな土壌をもつ丘陵地帯に誕生した現在2100戸の千草台団地は、昭和41年5月に入居が開始しました。40年の歳月を経て、団地内中央通りのケヤキ並木は、5階建ての棟の高さをしのぐ大木に。自治会長歴26年目の渡辺志げ子さんにお話を伺いました。「入居開始の2ヵ月後には自治会が発足。活気溢れる若い世代の住民は、交流を深めようと翌年には“団地祭り”をスタートさせました。今では成人してこの地を離れた子ども達が、団地祭りを楽しみに里帰りするんですよ」自治会事務所には、団地祭りの集合写真が年代別に飾っていました。カメラマンは渡辺会長。数々の写真に、千草台団地の歴史とシャッターを切る渡辺会長の優しいまなざしを感じました。



■団地祭り。山車みこしの後、みんなで記念撮影。



■団地祭りには獅子舞も登場。盛り上げます。

今回は、昨年創立40周年を迎えた千葉市稲毛区にある千草台団地自治会をご紹介します。



■日本の伝統行事を体験します。



■36年間続くちびっこ保育。団地外からの参加もあるほど人気。

に取り組んでいます。最近では、千葉県主催の自主防災支援シンポジウムで、千葉市を代表し千草台団地自治会の自主防災組織の取り組みを報告しました。団地の自主防災対策本部設立は1982年と歴史は古く、組織は、混乱を招かないために自治会と統一に。35棟を5ブロックに分けて避難します。毎年9月に実施する防災訓練では、薪を用いて炊き出しをするなどいざというときに役立つ活動を行っています」

20地区連合協会、青少年健全育成委員会、コミュニティづくり懇話会など数々の地域活動のリーダーを務める渡辺会長。「千草台団地自治会が地域で中心的役割を果たすことができる原因是、脈脈と培われてきた住民相互の協力のおかげです。」と渡辺会長は話してくれました。



■自主防災訓練。消防署の協力のもと、いろいろな消防体験を経験してもらいながら、大勢の住民が参加。



### ●いつもたれつの隣組感覚

「自治会では毎月3回、全戸配布の“自治会だより”を発行しています。自治会活動をタイムリーに周知し、関心をもってもらうためです。訪問販売が来た、騒音で悩んでいるなど、住民の皆さんは自治会を頼りに相談に訪れます。このような身近な出来事はすぐに掲載。不安や不満を安心



■ネクタイとスーツ姿がトレードマークの渡辺志げ子会長

### ●垣根を越えたコミュニティ

「地域の活動も盛んですよ。20地区が集まって開催する運動会や文化祭は幼児からお年寄りまで楽しめます。運動会では35棟を3チームに分けるので団地内でも敵同士。チームごとの準備は大変でしょうが、積極的



## 平野レミの

### Remi Profile

シャンソン歌手で料理愛好家、そして二男の母。夫はイラストレーターの和田誠さん。シェフではなく主婦として自作料理に情熱を燃やしている。



冷蔵庫を開けたら

卵とトマトと明太子があったのね。

で、たまたま思いついたのが

『タマトマ明太炒め』。

卵のコクとトマトの酸味、

明太子の塩味で

味がピタッと決まるから、

調味料はいらないのよ。

簡単なのに文句なしのおいしさだから

食べた人みんなが「信じられない！」

って絶賛するわ。

### ■材料(4人分)



明太子 ..... 50g  
卵(溶きほぐす) ..... 3個  
トマト(くし形に切って皮をむく) ..... 1個  
サラダ油 ..... 大さじ3  
イタリアンパセリ(みじん切り) ..... 適量

### ■作り方



- ① 明太子は縦に切れ目を入れ、包丁の背で中身をしごき出す。ボウルに入れ、溶きほぐした卵を加えてよく混ぜる。
- ② フライパンにサラダ油を熱し、くし形に切ったトマトを加えて強火で炒め、しんなりしたら①の卵液を加える。
- ③ 大きく混ぜながら炒め、半熟状で火を止める。この時、余熱で火が通り過ぎないようにね。フライパンからずべらせるようにして器に盛り、あればイタリアンパセリのみじん切りをちらす。

調理時間  
**10**  
分足らず



### 技plus

- ゆでたてのパスタにからめたり、ご飯にのっけて丼に。
- 面倒ならトマトの皮はむかなくてもOK！炒めていたら自然に取れちゃうから、皮だけヒヨイとつまみ出して。
- サラダ油の代わりにごま油を使うと中華風に、オリーブ油だとイタリアンになるわよ。

こんにちは  
JSです。

## こんにちはJSです。 賃貸住宅の駐車場管理業務一業務課

今回は、UR賃貸住宅にお住まいの皆さんに安全・安心で使いやすい駐車場をご利用いただけるよう、日々管理している業務をご紹介します。JS 東埼玉支店の業務課の古池庸二副長にお話を伺いました。

### Q. 業務の内容を教えてください。

——支店の駐車場業務は、事務管理と施設管理の二つに大別できます。

事務管理は、契約および解約に関する事務、なるべく大勢の方にご利用いただくために待機登録されている方（予約者）がいる場合は、駐車場の空きを順次ご案内し、予約者がいない場合は、お住まいの皆様にチラシ配布や看板等で、空き情報を積極的にお知らせします。

その他には駐車場料金の収納と未納のお客様へのお支払いのお願い等の業務があります。

施設管理は、まずは駐車場の維持管理であり、これは駐車場巡回班と協力しながら



▲契約の受付業務



▲契約車両を識別するためのナンバープレート

実施します。契約者別に作成した車両番号4桁表記のプレートの設置や駐車場内の清掃、走行や駐車の妨げになる樹木の剪定、危険箇所や修繕が必要な箇所がないかの点検を行っています。



### Q. どんなトラブルが？

——一番多いトラブルは、路上駐車している車が妨げになり、自分の駐車場に入れない、または出られない。次に樹木から樹液が落ちて車が汚れる。自分の駐車スペースに見覚えのない車が止まっている、などですね。このようなトラブルの連絡が支店に入った場合は、巡回班が現場確認をします。営業時間外の場合

は「緊急事故時間外受付センター」に連絡が入り、緊急避難的に駐車できるスペースに停めていただくなどの応急措置をとることもあります。

また、駐車場が不足している団地については、効率的な駐車場建設のための調査や計画も行います。



▲フットワークが軽い巡回車



▲団地内道路の路上駐車対策用の「車止め」



▲自走式駐車場の防犯カメラ

### Q. トラブル防止のために気をつけることは？

——トラブル防止には、まず当社の駐車場のルールをご理解いただく事が大切です。そのため、待機受付時及び契約時に駐車場のルールを分かりやすく説明するよう努めています。また、お客様に快適にご利用いただくためには、駐車場の状態を良好に保つ必要があります。これは巡回班の役割が大きいですね。東埼玉支店では、四班に分かれ（二人一組）車で毎日巡回。団地の生活環境における駐車場という観点で安全等を点検します。例えば、路上駐車の防止対策として団地内の路上駐車されやすい場所に設置している「車止め」が適所にあるかどうか。さらに駐車場内は見通しが悪くないか、暗すぎないかなど防犯の視点をもつことも忘れません。また、雨量の多い時期は、浸水防止のため、排水溝に落ち葉やゴミが詰まっていないかなど、特に注意を払います。



照度の足りない場所を  
ないように明るい外灯を

「機械式駐車場」ご利用の皆さんへ  
“豪雨などの緊急時には…”

機械式駐車場の場合、駐車装置が収められている地下部分（ピット）の底辺にある排水口から人孔と呼ばれるマンホールに雨水を流し、排水ポンプにより排出される仕組みになっています。しかし予想を超えた雨量の場合、排水能力が追いつかずピット内に雨水が溜まってしまうこともあります。このため、緊急時には、自動通報装置が感知し、当社に連絡が入り、現地に出動する体制がとられています。

とはいっても、大切な車の損害を未然に防ぐため、梅雨や台風時、天候の急変による集中豪雨が予想される時は、一時的に他の車の妨げにならない場所へ避難していただくよう呼びかけています。その際には、ダッシュボードなど車内の見えやすい所に緊急避難中であることを表示し、天候の回復後は速やかに駐車場に戻していただくようお願いしています。

## READER'S COLUMN 読者のお便りから

だんだんとお便りが増えてきました。ありがとうございます。  
編集部一同、皆さんのお便りを励みにしつつ、秋号の制作に邁進します。

### 「おたより」



最近、当団地にも外国の方が多くなりました。会うと気持ちよく笑顔でいさつされます。言葉の壁を乗りこえて仲良く団地生活を送りたいです。

愛知県知多市／T・Sさん



私は二人の子供を育て中。目の前の公園で毎日子供の声が聞こえたり、まわりにたくさん子供がいるのを感じると、自分の子供にたくさん友達ができそうな、なんだかうれしい気分になります。

埼玉県日高市／N・Mさん



いま住んでいる団地では、地震対策として6月に防災訓練をします。役員も会員も、皆倉庫に置いてあるテントを出したり準備で大忙しです。1100世帯の団地ですが、団結が自慢です。

神奈川県横浜市／I・Fさん



車返団地はいつもきれいでお掃除の方も感じがよく、気持ちのいい団地です。これからも私たち居住者も大切にていねいに暮らしていかなくちゃと思っています。

東京都府中市／O・Aさん

### お便りをお待ちしています。

JSplusを読んだご感想、ご意見、団地ならではのお話等、なんでもけっこうです。お便りをください。掲載させていただいた方には謝礼をお送りいたします。

宛先は、

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-9  
JS日本総合住生活（株）広報課  
「JSplus読者のお便りから」係  
＊お便りには郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を書き添えてください。

### ◆川柳、団地生活気質◆ だんちせいいかつかたぎ

世相や団地生活のこと、思いつくままの言葉で五・七・五に並べて下さい。



引越しして隣人笑顔で ひと安心  
ハチコー

おとなりの おかげは匂いが おしえてくれる  
食いしんば

公園に 子供とさくら 舞う姿  
M・Hさん

もう一口 私じゃないよ 我が子の分  
(Baby の分と、自分にも周りにも言い訳? 妊娠満突中) A・Mさん

ふりかえり ベランダ見てる 朝のひと  
(駅へ向かいながら手を振っている人、多いです) O・Rさん

幼な子が 巣立ってしまい 広き部屋  
T・Uさん

## JS INFORMATION JSからのお知らせ

### ●組織改編のお知らせ

JSではお客様に、より質の高いサービスを提供するため、本年7月1日より、下記の通り、組織の一部を改編いたしました。これを機によりいっそうのサービスの向上に努めてまいります。変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

#### ■支社統合

東京支社と神奈川支社を統合し「東京支社」とします。また千葉支社と埼玉支社を統合し『関東支社』とします。

#### ■首都圏事業本部開設

分譲住宅パートナー事業・商業施設経営事業及びストック改修技術開発事業等を集約し『首都圏事業本部』として開設します。

#### ■新所在地

[東京支社]  
〒140-0013  
東京都品川区南大井6-26-3大森ベルポートD館11F  
tel. 03-6803-3830(代)

[関東支社]  
〒110-0008  
東京都台東区池之端1-2-18MG池之端ビル3F  
tel. 03-6803-3600(代)

[首都圏事業本部]  
〒130-0012  
東京都墨田区太平4-1-3オリナスター16F  
tel. 03-6803-3400(代)

### ●スクエアJSがスタート!

JSでは埼玉県さいたま市に、7月1日より『スクエアJS』を新しくオープンさせました。

この施設は従来3カ所に分散していた技術開発研究所と環境技術グループ、緊急事故時間外受付センターの施設を1カ所に集約し、本館とストック技術提案館、ストック技術実験館からなってあります。従来から行ってきた改修技術の開発や水質検査、緊急事故への対応に加えて、JSがこれまで先導的に開発した成果を公開することなどにより、来館の皆様が、より快適な住まいへの夢をふくらませていただけるような提案もさせていただいている。

### ●テレビモニター付インターホンを開発

JSがアイホン(株)と共同開発したテレビモニター付インターホンをご紹介します。本体には非常通知機能がついていますので、万一の場合には玄関に取り付けた子機から警報音と光を発し、ご近所などに通報できるほか、不審者等を威嚇することもできます。また、玄関子機には自動点灯する照明が内蔵されており、夜間などにおいても、モニターで来訪者をしっかりと確認することができます。お子様からご高齢の方まで安心してご使用いただけるインターホンです。



●JSplusは管理サービス事務所にも置かれています。ぜひ、多くの方のご愛読をお願いいたします。

●次号JSplusの発行は平成18年9月の予定です。